

指定校番号	29003	学級活動		児童会	○	クラブ活動		学校行事		小学校用
-------	-------	------	--	-----	---	-------	--	------	--	------

平成 29 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	大竹市立大竹小学校	校長	小西 啓二	生徒指導主事	箱田 知子
-----	-----------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『ありがとうポスト』

取組のねらい『キーワード いじめを「しない・させない・許さない」』

運営委員会が中心となりいじめについて考えることで、いじめを「しない・させない・許さない」気持ちを高め、未然防止を図る。

身に付させたい資質・能力

○ 感謝の心や友だちを思いやる心を育てる。（中期経営目標）

取組の具体的内容『感謝し人を想う児童』

- ① 校内に「ありがとうポスト」を設置し、運営委員会が用意した用紙に、嬉しかったこと、ありがとうと言いたいことを書き、ポストに入れる。
- ② ポストに入れてもらった手紙の中から、運営委員会が数枚選び、期間中（約2週間）お昼の放送で紹介する。（「6年2組○○さんへ…」という手紙の場合、苗字のみ読む。）
- ③ ポストに入っていた手紙は、キャンペーン終了後、宛名のあるものは届ける。
- ④ 「ありがとうポスト」に入れた児童には、お礼のメダルを渡した。



運営委員会の児童



お礼のメダルをもらった児童

取組の課題・創意工夫『キーワード さわやかな挨拶・気持ちのよい言葉をめざして』

- 手紙が、自分の知っている人に限られていたので、知らない人にも目が向けられてより広い見方で手紙を書けたらよかった。
- 「さわやかな挨拶・気持ちのよい言葉を交わす児童の育成」（短期経営目標）であるが、この手紙をきっかけにもっと挨拶や気持ちよい言葉が、校内で交わせるように指導していく必要がある。
- 児童会活動をさらに児童主体で取り組めるような手立てをする必要がある。



朝のあいさつ運動

取組の成果（効果）『キーワード みんなが笑顔』

- 低学年が上級生の児童に宛てた手紙がかなりあり、何気ない行動を評価してもらったことで自己肯定感をもつ機会となった。同級生同士の手紙では、友達関係がよりよくなったと思われる。放送で紹介されたことで、より効果があがった。
- 思った以上に「ありがとう」の手紙が集まったことに、運営委員会の児童も喜んだし、手紙を渡された児童も喜んでいて、また、お礼のメダルを渡された児童もとても喜んでいて。
- 「児童が創る児童会活動」を目指して、各月の生活目標をもとに取組を考えている。その中で運営委員会が、昨年度とは違う取組を行うことでより達成感をもつことができた。自治的な活動に対する意欲ももつことができた。

今後の展開『キーワード もっと感謝しもっと人を想う児童』

3月の生活目標「人のために行動しよう」の取組として、「笑顔ポスト」を設置し、自分の行動や友達の行動について振り返り、評価しあう。

他校へのアドバイス『キーワード子どもたちの自己決定』

- 教師が取組を考え進めるよりも、子どもたちに主体的に活動を考えさせ実践させることで、より主体的な取組とすることができる。また、子どもたちならではの発案も大いに期待できる。